

2 公害の種類別公害苦情受付件数

(1) 典型7公害の種類別公害苦情受付件数

- 典型7公害では、「騒音」(39.5%)、「大気汚染」(26.5%)、「悪臭」(19.2%)で全体の85.2%を占める。
- 受付件数の減少(対前年度比▲1,347件)は、「悪臭」(同▲587件)、「大気汚染」(同▲535件)の減少による影響が大きい。

〈統計表第1表参照〉

典型7公害の公害苦情受付件数(47,622件)を典型7公害の種類別にみると、「騒音」が18,811件(39.5%)と最も多く、次いで「大気汚染」が12,630件(26.5%)、「悪臭」が9,156件(19.2%)、「水質汚濁」が4,300件(9.0%)、「振動」が2,460件(5.2%)、「土壌汚染」が235件(0.5%)、「地盤沈下」が30件(0.1%)となっており、上位3公害の合計で全体の85.2%を占めている。

受付件数が前年度に比べ1,347件の減少(対前年度比▲2.8%)となったことについては、「悪臭」が587件(同▲6.0%)、「大気汚染」が535件(同▲4.1%)の減少となった影響が大きい。

【図2、図3、図4、表3】

図2 典型7公害の種類別公害苦情受付件数の推移

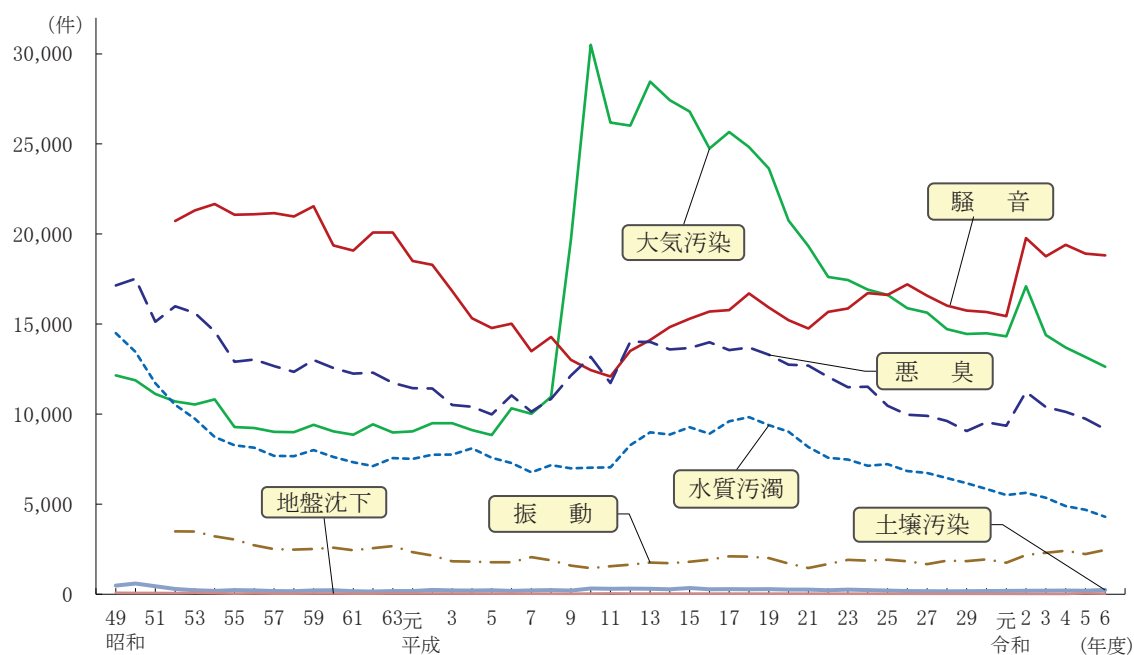


図3 典型7公害の種類別公害苦情受付件数

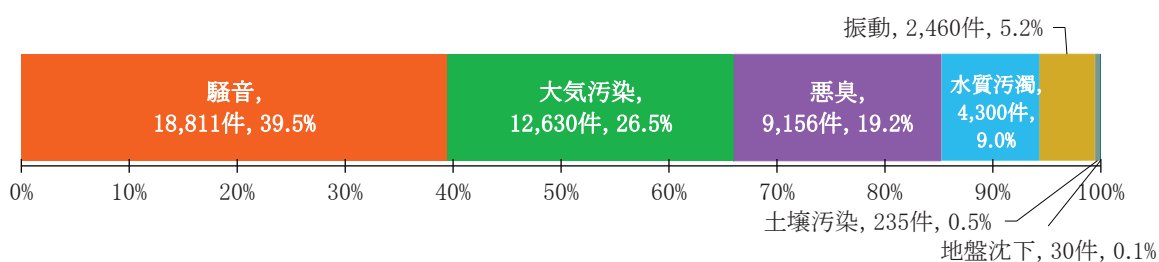


図4 典型7公害の種類別公害苦情受付件数（令和2～6年度）

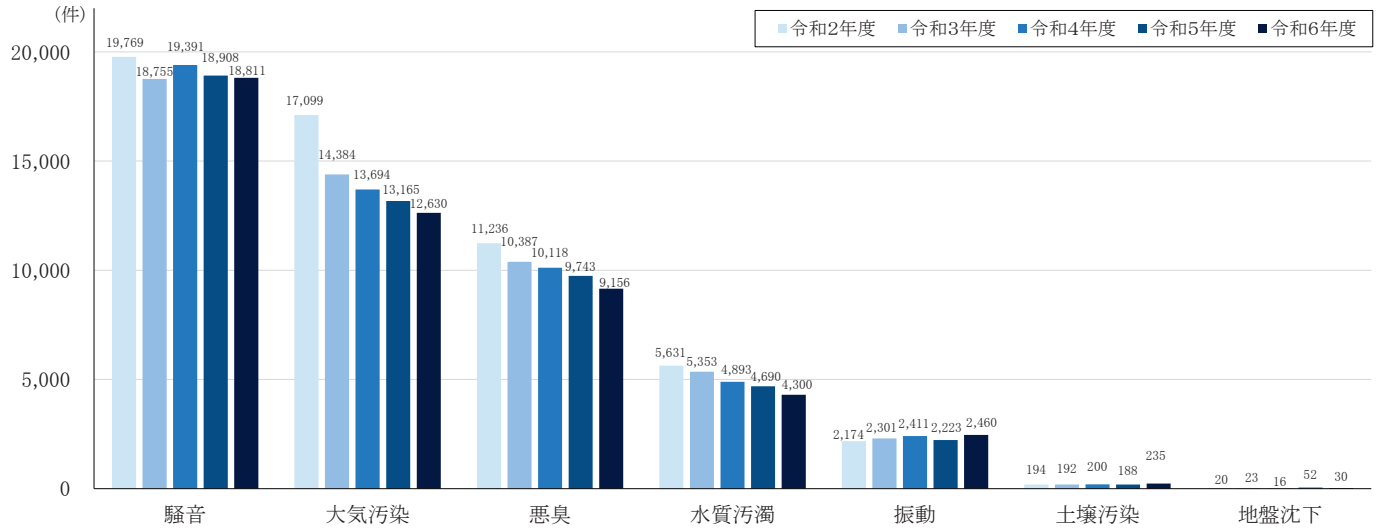


表3 典型7公害の種類別公害苦情受付件数の推移

（単位：件）

年 度		合 計	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒 音	低周波音	振 動	地盤沈下	悪 臭
公害苦情受付件数	平成26年度	51,912	15,879	6,839	174	17,202	182	1,830	26	9,962
	27	50,677	15,625	6,729	167	16,574	227	1,663	22	9,897
	28	48,840	14,710	6,442	167	16,016	234	1,866	19	9,620
	29	47,437	14,450	6,161	166	15,743	191	1,831	23	9,063
	30	47,656	14,481	5,841	168	15,665	216	1,931	27	9,543
	令和元年度	46,555	14,317	5,505	186	15,434	249	1,743	21	9,349
	2	56,123	17,099	5,631	194	19,769	313	2,174	20	11,236
	3	51,395	14,384	5,353	192	18,755	294	2,301	23	10,387
	4	50,723	13,694	4,893	200	19,391	287	2,411	16	10,118
	5	48,969	13,165	4,690	188	18,908	294	2,223	52	9,743
	6	47,622	12,630	4,300	235	18,811	261	2,460	30	9,156
構成比（％）	平成26年度	100.0	30.6	13.2	0.3	33.1	0.4	3.5	0.1	19.2
	27	100.0	30.8	13.3	0.3	32.7	0.4	3.3	0.0	19.5
	28	100.0	30.1	13.2	0.3	32.8	0.5	3.8	0.0	19.7
	29	100.0	30.5	13.0	0.3	33.2	0.4	3.9	0.0	19.1
	30	100.0	30.4	12.3	0.4	32.9	0.5	4.1	0.1	20.0
	令和元年度	100.0	30.8	11.8	0.4	33.2	0.5	3.7	0.0	20.1
	2	100.0	30.5	10.0	0.3	35.2	0.6	3.9	0.0	20.0
	3	100.0	28.0	10.4	0.4	36.5	0.6	4.5	0.0	20.2
	4	100.0	27.0	9.6	0.4	38.2	0.6	4.8	0.0	19.9
	5	100.0	26.9	9.6	0.4	38.6	0.6	4.5	0.1	19.9
	6	100.0	26.5	9.0	0.5	39.5	0.5	5.2	0.1	19.2
対前年度増減数	平成26年度	-1,127	-737	-377	-28	591	-3	-84	10	-502
	27	-1,235	-254	-110	-7	-628	45	-167	-4	-65
	28	-1,837	-915	-287	0	-558	7	203	-3	-277
	29	-1,403	-260	-281	-1	-273	-43	-35	4	-557
	30	219	31	-320	2	-78	25	100	4	480
	令和元年度	-1,101	-164	-336	18	-231	33	-188	-6	-194
	2	9,568	2,782	126	8	4,335	64	431	-1	1,887
	3	-4,728	-2,715	-278	-2	-1,014	-19	127	3	-849
	4	-672	-690	-460	8	636	-7	110	-7	-269
	5	-1,754	-529	-203	-12	-483	7	-188	36	-375
	6	-1,347	-535	-390	47	-97	-33	237	-22	-587
対前年度増減率（％）	平成26年度	-2.1	-4.4	-5.2	-13.9	3.6	-1.6	-4.4	62.5	-4.8
	27	-2.4	-1.6	-1.6	-4.0	-3.7	24.7	-9.1	-15.4	-0.7
	28	-3.6	-5.9	-4.3	0.0	-3.4	3.1	12.2	-13.6	-2.8
	29	-2.9	-1.8	-4.4	-0.6	-1.7	-18.4	-1.9	21.1	-5.8
	30	0.5	0.2	-5.2	1.2	-0.5	13.1	5.5	17.4	5.3
	令和元年度	-2.3	-1.1	-5.8	10.7	-1.5	15.3	-9.7	-22.2	-2.0
	2	20.6	19.4	2.3	4.3	28.1	25.7	24.7	-4.8	20.2
	3	-8.4	-15.9	-4.9	-1.0	-5.1	-6.1	5.8	15.0	-7.6
	4	-1.3	-4.8	-8.6	4.2	3.4	-2.4	4.8	-30.4	-2.6
	5	-3.5	-3.9	-4.1	-6.0	-2.5	2.4	-7.8	225.0	-3.7
	6	-2.8	-4.1	-8.3	25.0	-0.5	-11.2	10.7	-42.3	-6.0

(2) 典型7公害以外の種類別公害苦情受付件数

- 典型7公害以外では、「廃棄物投棄」※が前年度に比べ減少し8,004件

(※3ページの脚注1参照。以下本項において同じ。)

- ✓ 前年度から「生活系」が245件の減少(対前年度比▲3.9%)となったことによって、廃棄物投棄全体でも372件の減少(同▲4.4%)

〈統計表第1表、第4表参照〉

典型7公害以外の公害苦情受付件数(19,309件)のうち「廃棄物投棄」は8,004件と、前年度に比べ372件の減少(対前年度比▲4.4%)となった。「廃棄物投棄」の内訳をみると、「生活系」の投棄が6,112件(76.4%)となっており、最も多い。

受付件数が前年度に比べ875件の減少(対前年度比▲4.3%)となったことについては、「廃棄物投棄(生活系)」が245件の減少(同▲3.9%)となった影響が大きい。

【図5、図6、表4】

図5 典型7公害以外の種類別公害苦情受付件数の推移

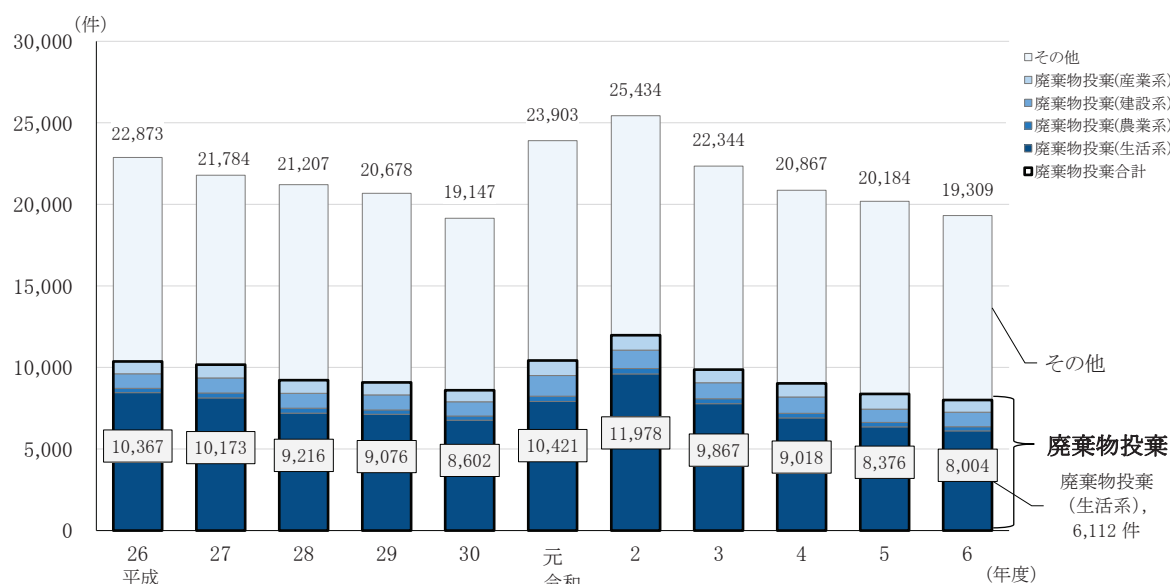


図6 典型7公害以外の種類別公害苦情受付件数(令和2～6年度)

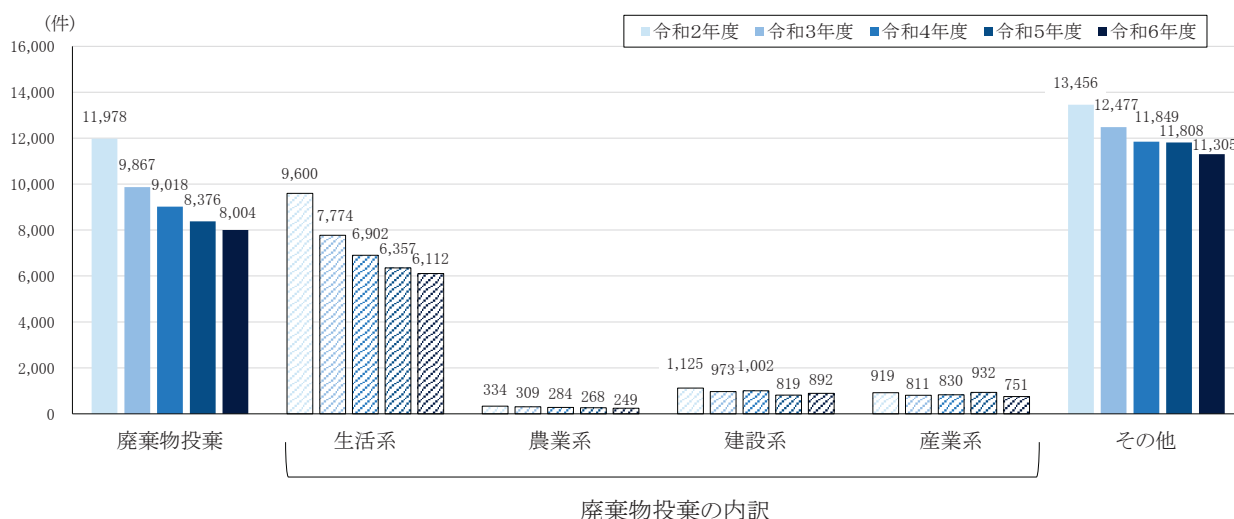


表４ 典型７公害以外の種類別公害苦情受付件数の推移

(単位：件)

年 度		合 計	廃棄物投棄					その他
			生活系	農業系	建設系	産業系		
公害 苦情受 付件数	平成26年度	22, 873	10, 367	8, 450	269	891	757	12, 506
	27	21, 784	10, 173	8, 128	309	918	818	11, 611
	28	21, 207	9, 216	7, 199	303	914	800	11, 991
	29	20, 678	9, 076	7, 130	262	925	759	11, 602
	30	19, 147	8, 602	6, 767	257	869	709	10, 545
	令和元年度	23, 903	10, 421	7, 915	322	1, 262	922	13, 482
	2	25, 434	11, 978	9, 600	334	1, 125	919	13, 456
	3	22, 344	9, 867	7, 774	309	973	811	12, 477
	4	20, 867	9, 018	6, 902	284	1, 002	830	11, 849
	5	20, 184	8, 376	6, 357	268	819	932	11, 808
	6	19, 309	8, 004	6, 112	249	892	751	11, 305
対前 年度 増 減 数	平成26年度	-1, 046	-434	-246	-24	-125	-39	-612
	27	-1, 089	-194	-322	40	27	61	-895
	28	-577	-957	-929	-6	-4	-18	380
	29	-529	-140	-69	-41	11	-41	-389
	30	-1, 531	-474	-363	-5	-56	-50	-1, 057
	令和元年度	4, 756	1, 819	1, 148	65	393	213	2, 937
	2	1, 531	1, 557	1, 685	12	-137	-3	-26
	3	-3, 090	-2, 111	-1, 826	-25	-152	-108	-979
	4	-1, 477	-849	-872	-25	29	19	-628
	5	-683	-642	-545	-16	-183	102	-41
	6	-875	-372	-245	-19	73	-181	-503
対前 年度 増 減 率 （ ％ ）	平成26年度	-4. 4	-4. 0	-2. 8	-8. 2	-12. 3	-4. 9	-4. 7
	27	-4. 8	-1. 9	-3. 8	14. 9	3. 0	8. 1	-7. 2
	28	-2. 6	-9. 4	-11. 4	-1. 9	-0. 4	-2. 2	3. 3
	29	-2. 5	-1. 5	-1. 0	-13. 5	1. 2	-5. 1	-3. 2
	30	-7. 4	-5. 2	-5. 1	-1. 9	-6. 1	-6. 6	-9. 1
	令和元年度	24. 8	21. 1	17. 0	25. 3	45. 2	30. 0	27. 9
	2	6. 4	14. 9	21. 3	3. 7	-10. 9	-0. 3	-0. 2
	3	-12. 1	-17. 6	-19. 0	-7. 5	-13. 5	-11. 8	-7. 3
	4	-6. 6	-8. 6	-11. 2	-8. 1	3. 0	2. 3	-5. 0
	5	-3. 3	-7. 1	-7. 9	-5. 6	-18. 3	12. 3	-0. 3
	6	-4. 3	-4. 4	-3. 9	-7. 1	8. 9	-19. 4	-4. 3

注) 典型７公害以外の苦情の分類例

廃 棄 物 投 棄	生活系	主に家庭生活から発生した生ごみ・紙くず・新聞紙等の燃焼物、空き缶・空きびん・乾電池等の燃焼不適物、家具・電気製品・ピアノ等の粗大ごみ等による「一般廃棄物」の投棄
	農業系	主に農林漁業から発生した畜産関係の動物の死体、ふん尿等による「産業廃棄物」の投棄
	建設系	主に建設業から発生した建築廃材等による「産業廃棄物」の投棄
	産業系	主に卸売・小売業、飲食店、宿泊業等の産業における業務から排出したごみ、製造及び処理工程で発生した紙等のくず、金属くず、ガラス、燃え殻、ばいじん、汚泥、廃油・廃酸・廃プラスチック類等による「産業廃棄物」の投棄
そ の 他		雑草等の花粉の浮遊、雑草等による交通視野妨害、雑草の繁茂による火災発生の危険性、汚水の流出、洗車場の汚水散布等に対する苦情